

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | | キャリア教育 | |
|---------------|--|------------------------------|--------|--------|
| 科目名 | キャリア教育Ⅰ | | 担当教員名 | 照井 裕章 |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | 703教室 |
| 授業の到達目標 | <p>人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。</p> | | | |
| 授業の内容 | <p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、 社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。</p> | | | |
| 【実務経験】 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 講義 | ITリテラシーを理解し、IT環境に対応できるようになる。 | | |
| 2 | 講義 | 守秘義務を理解し、守れるようになる。 | | |
| 3 | 講義 | デビューバンク等ビューツールの作成 | | |
| 4 | 講義 | 舞台用語① | | |
| 5 | 講義 | 目標シート制作 | | |
| 6 | 講義 | 個人サンプル制作について | | |
| 7 | 講義 | スケジュール管理について | | |
| 8 | 講義 | 新人発掘プレゼンテーションガイダンス① | | |
| 9 | 講義 | 話し方・聞き方講座 | | |
| 10 | 講義 | PDCAサイクルについて | | |
| 11 | 講義 | 個人情報取り扱いについて | | |
| 12 | 講義 | デビューマップ制作 | | |
| 13 | 講義 | コンセンサスを取るためのワークショップ | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 3.課題(100%) | | |
| 教材 | 教科書 | | | |
| | 参考書 | | | |
| 学生へのメッセージ | | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | | キャリア教育 | |
|---------------|--|---------------------|--------|--------|
| 科目名 | キャリア教育Ⅱ | | 担当教員名 | 照井 裕章 |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | 703教室 |
| 授業の到達目標 | <p>人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。</p> | | | |
| 授業の内容 | <p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、 社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。</p> | | | |
| 【実務経験】 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 講義 | 新人発掘プレゼンテーションガイダンス② | | |
| 2 | 講義 | 新人発掘プレゼンテーションガイダンス③ | | |
| 3 | 講義 | 舞台用語② | | |
| 4 | 講義 | 舞台用語③ | | |
| 5 | 講義 | 顧客の考え方 | | |
| 6 | 講義 | 報告・連絡・相談とおひたし | | |
| 7 | 講義 | プレゼンツール作成について | | |
| 8 | 講義 | 社会人基礎力①主体性 | | |
| 9 | 講義 | 社会人基礎力②働きかけ力 | | |
| 10 | 講義 | 社会人基礎力③実行力 | | |
| 11 | 講義 | 社会人基礎力④課題発見力 | | |
| 12 | 講義 | 社会人基礎力⑤計画力 | | |
| 13 | 講義 | 社会人基礎力⑥創造力 | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 3.課題(100%) | | |
| 教材 | 教科書 | | | |
| | 参考書 | | | |
| 学生への メッセージ | | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | グローバルコミュニケーション | | |
|---|--|---|-------------|--------|
| 授業名 | グローバルコミュニケーションⅠ | 担当教員名 | ジェフリー バーネット | |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 必修 | 教室 | 803 |
| 授業の到達目標 | 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。 | | | |
| 【実務経験】 2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 講義 | L. 1 授業計画の説明、プレテスト、初対面のあいさつ～お別れまでの会話が出来る。 | | |
| 2 | 講義 | L. 2 & 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えが出来る。 | | |
| 3 | 講義 | L. 5 & 6 好き・嫌い等の好みについての会話が出来る。 | | |
| 4 | 講義 | L. 8 意見を尋ねる/意見を述べる。お誘いを受けた際の返答が出来る。 | | |
| 5 | 講義 | L. 11 & 12 人を褒める&褒められた際の会話表現。(衣服など)着ているものに関して述べる事が出来る。 | | |
| 6 | 講義 | L. 7, 13, & 14 時間について表現する。日々の習慣について話す&質問できる。 | | |
| 7 | 講義 | L. 19 & 20 道案内をする・場所を尋ねることが出来る。 | | |
| 8 | 講義 | L. 21 & 23 数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えが出来る。 | | |
| 9 | 講義 | L. 28 料理の味や材料について&レストランでのオーダーが出来るようになる。 | | |
| 10 | 講義 | L. 29 & 30 過去の出来事について話す&質問できる。 | | |
| 11 | 講義 | L. 31 自分の体験について話す&それに対するリアクションや返答が出来るようになる。 | | |
| 12 | 講義 | L. 32 週末や未来の予定について話す事が出来る。 | | |
| 13 | 講義 | 総復習 | | |
| 14 | 講義 | 本試験 | | |
| 15 | 講義 | 試験返却、解説、ポストテスト | | |
| 準備学習 時間外学習 | 事前に教科書を読んでおきましょう。 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 筆記試験100% | | |
| 教材 | 教科書 | Speak Now1 | | |
| | 参考書 | | | |
| 学生への メッセージ | 皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！ | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | グローバルコミュニケーション | | |
|---|--|---------------------------|-------------|--------|
| 授業名 | グローバルコミュニケーションⅡ | 担当教員名 | ジェフリー バーネット | |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 必修 | 教室 | 803 |
| 授業の到達目標 | 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。 | | | |
| 【実務経験】 2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 講義 | オリエンテーション | | |
| 2 | 講義 | ・初めて会う人と自己紹介をし合う。 | | |
| 3 | 講義 | ・機能表現[紹介][職業質問]を習得し、会話する。 | | |
| 4 | 講義 | ・トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。 | | |
| 5 | 講義 | ・家の中を案内する場面で会話する。 | | |
| 6 | 講義 | ・家族の紹介をする。 | | |
| 7 | 講義 | ・名前について、会話をする。 | | |
| 8 | 講義 | ・ホテルでチェックインをする。 | | |
| 9 | 講義 | ・機能表現[依頼][時間質問]を習得し、会話する。 | | |
| 10 | 講義 | ・トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。 | | |
| 11 | 講義 | ・ホテルで希望を伝える。 | | |
| 12 | 講義 | ・ボディランゲージ(ジェスチャー)を表現する。 | | |
| 13 | 講義 | 総復習 | | |
| 14 | 講義 | 本試験 | | |
| 15 | 講義 | 試験返却、解説、ポストテスト | | |
| 準備学習 時間外学習 | 授業では配布したプリントを復習しておきましょう。 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 筆記試験100% | | |
| 教材 | 教科書 | | | |
| | 参考書 | | | |
| 学生への メッセージ | 皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！ | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | イヤートレーニング | |
|---------------|--|--|-------|
| 授業名 | ET1 | 担当教員名 | 小林 延江 |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 |
| 曜日・時限 | 必修 | 教室 | 1年次前期 |
| 授業の到達目標 | <p>《リズム》4分の3拍子・4分の4拍子で、4分音符、8分音符、16分音符、4分休符、8分休符の混ざったリズムを聴き取れるように。 《メロディー》C～Gまで(跳躍進行あり)を正確に聴き取り楽譜に書き表せるように。 《音程》1～8度までの音程を知る。 《コード》メジャーコードとマイナーコードを聴き分ける。</p> | | |
| 授業の内容 | <p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する キーボードで弾く音を聴き取り、リズムを感じ、それを表現するトレーニングを行っていく授業です。音感・リズム感・感性を鍛えていくと共に、音を集中して聴く力(集中力)、聴こえてきた音を正確に楽譜に表す力を身につけていきます。</p> | | |
| 【実務経験】 | 2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。 | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | |
| 1 | 講義 | ファンデーション科目・ET の説明/音の歴史について、音楽について、モールス信号、効果音、周波数(教科書第1章～2章の内容) | |
| 2 | 講義 | 4分音符4分休符導入 / リズム打ちを使っの書き取り/線紙を使っの音の高低判定(C～E・2度進行) | |
| 3 | 講義 | 線紙を使っの書き取り/3線紙を使っの音の高低判定(C～E・3度の順次進行) | |
| 4 | 講義 | 8分音符導入 / 5線を使っC～E までの書き取り / 全音・半音と度数のみ | |
| 5 | 講義 | 休符の多い書き取り問題 / 1・2・3・8度のみ | |
| 6 | 講義 | 16分音符の導入 / 復習・暗記問題/1・2・3・8度のみ変化記号(#・b)が付いた場合 | |
| 7 | 講義 | 復習・確認週 | |
| 8 | 講義 | C～E で跳躍進行/1～5と8度(4度、5度は#、bなし) トライトーン | |
| 9 | 講義 | 8分休符+8分音符の導入 / C～Fまで(順次進行)/1～5と8度(4度、5度#、bあり)トライトーン | |
| 10 | 講義 | 8分音符+16分音符リズムの導入 / C～Gまで(順次進行)/1～6と8度 | |
| 11 | 講義 | C～Gまで(跳躍進行)/1～8度 | |
| 12 | 講義 | 1～8度 音程まとめ/Major, Minorの聞き分け/総復習 | |
| 13 | 講義 | テスト対策週(まとめ) | |
| 14 | 講義 | テスト | |
| 15 | 講義 | テスト返却・復習 | |
| 準備学習 時間外学習 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価 | |
| 教材 | 教科書 | イヤートレーニング | |
| | 参考書 | | |
| 学生への メッセージ | 週1回の授業を大切に！こつこつと積み重ねていくことで少しずつ耳は鍛えられていきます。継続して授業に出席することを定着させ、正確な音感・リズム感を身につけていきましょう。 | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | イヤートレーニング | |
|---------------|--|---|-------|
| 授業名 | ET2 | 担当教員名 | 小林 延江 |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 |
| 曜日・時限 | 必修 | 教室 | 1年次後期 |
| 授業の到達目標 | <p>《リズム》4分の3拍子・4分の4拍子で、4分音符、8分音符、16分音符、4分休符、8分休符、付点8分音符の混ざったリズムを聴き取れるように。 《メロディー》C～Cまで(1オクターヴ/跳躍進行あり)《2声メロディー》Key:Cのメロディーを正確に聴き取り楽譜に書き表せるように。</p> | | |
| 授業の内容 | <p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するキーボードで弾く音を聴き取り、リズムを感じ、それを表現するトレーニングを行っていく授業です。音感・リズム感・感性を身につけていくと共に、音を集中して聴く力(集中力)、聴こえてきた音を正確に楽譜に表す力も身につけていきます。</p> | | |
| 【実務経験】 | 2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。 | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | |
| 1 | 講義 | 復習(C～Gまで) マイナースケールのメロディー視唱/復習(1～8度) 音程ドリル/Major, Minorの聞き分け | |
| 2 | 講義 | 3連符の導入 / 復習(C～Gまで) Cマイナースケールのメロディー視唱/音程ドリル/C, G, Fの聞き分け | |
| 3 | 講義 | 復習(C, G, Fコード付け導入・後付け)/C～A まで(臨時記号後付け)/マイナースケールのメロディー視唱/音程ドリル/Major, Minorの聞き分け | |
| 4 | 講義 | C～A まで(臨時記号後付け) /復習 音程ドリル | |
| 5 | 講義 | 付点8分音符・16分音符の導入/(タイの導入・後付け)/C～B まで(臨時記号後付け)/復習 音程ドリル | |
| 6 | 講義 | テスト対策週(まとめ) | |
| 7 | 講義 | テスト | |
| 8 | 講義 | テスト返却/リズム打ち6/8拍子導入/ベース(F-clef)の書き取り(C～G)/Major, Minorの聞き分け | |
| 9 | 講義 | リズム打ち6/8拍子/ベース(F-clef)の書き取り(C～G)/復習 音程ドリル | |
| 10 | 講義 | 8分音符・16分音符の導入/リズム打ち6/8拍子 /Major, Minorの聞き分け | |
| 11 | 講義 | リズム打ち6/8拍子 /2声メロディー/復習 音程ドリル | |
| 12 | 講義 | 総復習 (リズム打ち6/8拍子)/1オクターブ・2声メロディー | |
| 13 | 講義 | テスト対策週(まとめ) | |
| 14 | 講義 | テスト | |
| 15 | 講義 | テスト返却・復習 | |
| 準備学習 時間外学習 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価 | |
| 教材 | 教科書 | イヤートレーニング | |
| | 参考書 | | |
| 学生への メッセージ | 週1回の授業を大切に！こつこつと積み重ねていくことで少しずつ耳は鍛えられていきます。継続して授業に出席することを定着させ、正確な音感・リズム感を身につけていきましょう。 | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | | ミュージックセオリー | |
|---|--|---|------------|--------|
| 授業名 | LM1 | | 担当教員名 | 小林 延江 |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 必修 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | 楽譜に書かれた音やリズム・記号の意味について理解し、楽譜の基礎を学んでいくことで正確に楽譜を読み取る力を身につけていくことを目標とする。 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する教科書、補助プリント、楽譜と音源を使い、実際に楽譜の中でどのように書かれ、使われているのかも紹介しながら講義し、ワークブックを用いて繰り返し問題を解きながら読譜力をつけていきます。 | | | |
| 【実務経験】2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 講義 | ファンデーションカリキュラムの説明・LMの説明・楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への楽譜の移り変わりを知る | | |
| 2 | 講義 | 鍵盤と音名の一致・楽器ごとの音域を知る | | |
| 3 | 講義 | 音符・休符の表し方、連符 | | |
| 4 | 講義 | 拍子記号・小節線について、拍子(単純拍子は詳しく、複合・混合拍子は紹介のみ)、タイ・シンコペーション | | |
| 5 | 講義 | 反復記号を学び、音源を使用して楽譜を追えるようにする | | |
| 6 | 講義 | 楽譜と音源を使用し、前半の総復習 | | |
| 7 | 講義 | 確認テスト | | |
| 8 | 講義 | メジャースケールの仕組み・#系のメジャースケールのみ | | |
| 9 | 講義 | 5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする・b系のメジャースケール | | |
| 10 | 講義 | 調号と臨時記号の違い・臨時記号の効力・正しい楽譜の書き方 | | |
| 11 | 講義 | 速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ | | |
| 12 | 講義 | 楽譜と音源を使用し、後半の総復習 | | |
| 13 | 講義 | 期末予備テスト | | |
| 14 | 講義 | 期末テスト | | |
| 15 | 講義 | テスト返却、復習 | | |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 成績評価 | | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 筆記試験100% | |
| 教材 | 教科書 | ゼロから始める音楽理論、ワークブック | | |
| | 参考書 | | | |
| 学生へのメッセージ | | 楽譜は慣れです！楽譜に触れる機会をたくさん増やし、楽譜に書かれていることを正確に読み取れる力を身につけていけるよう日々の授業をコツコツ取り組んでいきましょう。 | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ミュージックセオリー | |
|---|--|---|-------|
| 授業名 | LM2 | 担当教員名 | 小林 延江 |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 |
| 曜日・時限 | | 必修 | 教室 |
| 授業の到達目標 | スケールの仕組みや曲の雰囲気の特徴付けるKeyについて、移調の仕方、楽譜に書かれた記号の演奏方法について、コードの概念と構造について理解することにより、楽譜をもう少し深いところまで読み取る力を身につけていくことを目標とする。 | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する教科書、補助プリント、楽譜と音源を使い、実際に楽譜の中でどのように書かれ、使われているか、どう使っていくか等紹介しながら講義し、ワークブックを用いて繰り返し練習していきながら習得していく。 | | |
| 【実務経験】2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。 | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | |
| 1 | 講義 | マイナースケールの仕組み・5度圏を用いてナチュラルマイナーの説明 | |
| 2 | 講義 | ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの説明 | |
| 3 | 講義 | 近親調・それぞれの調の関係を楽譜を用いて知る | |
| 4 | 講義 | 五線を用いて移調を出来るようになる | |
| 5 | 講義 | 省略記号、奏法記号、装飾記号を知る | |
| 6 | 講義 | 楽譜と音源を用い、前半の総復習 | |
| 7 | 講義 | 確認テスト | |
| 8 | 講義 | コードの概念とトライアドの構造について知る | |
| 9 | 講義 | トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させる | |
| 10 | 講義 | トライアドと7thコードの響きの違いを曲を用いて知る・dimコードの構造と響き | |
| 11 | 講義 | add9、sus4、6thコードについて知る | |
| 12 | 講義 | 楽譜と音源を用い、後半の総復習 | |
| 13 | 講義 | 期末予備テスト | |
| 14 | 講義 | 期末テスト | |
| 15 | 講義 | テスト返却、復習 | |
| 準備学習 時間外学習 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 筆記試験100% | |
| 教材 | 教科書 | ゼロから始める音楽理論、ワークブック | |
| | 参考書 | | |
| 学生への メッセージ | 楽譜は慣れです！楽譜に触れる機会をたくさん増やし、楽譜に書かれていることを正確に読み取れる力を身につけていけるよう日々の授業をコツコツ取り組んでいきましょう。 | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスコミュニケーション | | |
|---------------|--|------------------|-------|--------------|
| 授業名 | HIPHOP I | | 担当教員名 | (HASSY)橋田 慧一 |
| 時間数 | 60 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | 基礎の重要性を理解し、振付などでの応用に活かすことができる | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する HIPHOPの軸となるリズムを中心とした基礎、また技術のみならず、メンタル面におけるトレーニングで心技ともに磨く | | | |
| 【実務経験】 | GATSBY STYLING DANCE CONTEST日本2位、KPOPグループ”ZE:A”バックダンサー | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | オリエンテーション | | |
| 2 | 演習 | HIPHOP基礎・振付1 | | |
| 3 | 演習 | HIPHOP基礎・振付1のつづき | | |
| 4 | 演習 | HIPHOP基礎・振付1のつづき | | |
| 5 | 演習 | HIPHOP基礎・振付2 | | |
| 6 | 演習 | HIPHOP基礎・振付2のつづき | | |
| 7 | 演習 | HIPHOP基礎・振付2のつづき | | |
| 8 | 演習 | HIPHOP基礎・振付3 | | |
| 9 | 演習 | HIPHOP基礎・振付3のつづき | | |
| 10 | 演習 | HIPHOP基礎・振付3のつづき | | |
| 11 | 演習 | 試験に向けての復習 | | |
| 12 | 演習 | 試験内容の練習 | | |
| 13 | 演習 | 試験 | | |
| 14 | 演習 | (ワークショップ) | | |
| 15 | 演習 | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 振りの確認、復習 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%) | 実技試験100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生への メッセージ | 心身ともに強くなるために自分と向き合しましょう | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスコミュニケーション | | |
|---------------|--|------------------|-------|--------------|
| 授業名 | HIPHOPⅡ | | 担当教員名 | (HASSY)橋田 慧一 |
| 時間数 | 60 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | 基礎の重要性を理解し、振付などでの応用に活かすことができる | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する HIPHOPの軸となるリズムを中心とした基礎、また技術のみならず、メンタル面におけるトレーニングで心技ともに磨く | | | |
| 【実務経験】 | GATSBY STYLING DANCE CONTEST日本2位、KPOPグループ”ZE:A”バックダンサー | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | オリエンテーション | | |
| 2 | 演習 | HIPHOP基礎・振付1 | | |
| 3 | 演習 | HIPHOP基礎・振付1のつづき | | |
| 4 | 演習 | HIPHOP基礎・振付1のつづき | | |
| 5 | 演習 | HIPHOP基礎・振付2 | | |
| 6 | 演習 | HIPHOP基礎・振付2のつづき | | |
| 7 | 演習 | HIPHOP基礎・振付2のつづき | | |
| 8 | 演習 | HIPHOP基礎・振付3 | | |
| 9 | 演習 | HIPHOP基礎・振付3のつづき | | |
| 10 | 演習 | HIPHOP基礎・振付3のつづき | | |
| 11 | 演習 | 試験に向けての復習 | | |
| 12 | 演習 | 試験内容の練習 | | |
| 13 | 演習 | 試験 | | |
| 14 | 演習 | (ワークショップ) | | |
| 15 | 演習 | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 振りの確認、復習 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%) | 実技試験100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生への メッセージ | 心身ともに強くなるために自分と向き合しましょう | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスコミュニケーション | | |
|--|--------------------------------------|--|-------|--------|
| 授業名 | JAZZ I | | 担当教員名 | 吉川 優美子 |
| 時間数 | 60 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | | | | |
| 学生の持つ身体能力を高め、ダンステクニックの向上、表現力を身につける。 | | | | |
| 授業の内容 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸センター…身体の内側からのエネルギーをコントロールする ・バーレッスン…バレエテクニックと共に身体を緩めるリソーステクニックを学ぶ ・コンビネーション…振付の理解力・表現力・クリエイティブ力を身につける | | | | |
| 【実務経験】 | | | | |
| Jennifer Muller/The Worksに12年間在籍、世界各国公演ワークショップを行う | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、コンビネーション、クロスフロアー | | |
| 2 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | | |
| 3 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | | |
| 4 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | | |
| 5 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | | |
| 6 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | | |
| 7 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | | |
| 8 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | | |
| 9 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | | |
| 10 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | | |
| 11 | 演習 | テスト | | |
| 12 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | | |
| 13 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技評価: 100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生への メッセージ | チャレンジする気持ちと自分を向き合う強さを大切に一緒に頑張ろう | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスコミュニケーション | |
|--|--------------------------------------|--|--------|
| 授業名 | JAZZ II | 担当教員名 | 吉川 優美子 |
| 時間数 | 60 | 必修・選択 | 配当年次 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 |
| 授業の到達目標 | | | |
| 学生を持つ身体能力を高め、ダンステクニックの向上、表現力を身につける。 | | | |
| 授業の内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸センター・・・身体の内側からのエネルギーをコントロールする ・バーレッスン・・・バレエテクニックと共に身体を緩めるリソーステクニックを学ぶ ・コンビネーション・・・振付の理解力・表現力・クリエイティブ力を身につける | | | |
| 【実務経験】 | | | |
| Jennifer Muller/The Worksに12年間在籍、世界各国公演ワークショップを行う | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | |
| 1 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、コンビネーション、クロスフロアー | |
| 2 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | |
| 3 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | |
| 4 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | |
| 5 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | |
| 6 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | |
| 7 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | |
| 8 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | |
| 9 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | |
| 10 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | |
| 11 | 演習 | テスト | |
| 12 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | |
| 13 | 演習 | 呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー) | |
| 14 | | (ワークショップ) | |
| 15 | | (ワークショップ) | |
| 準備学習 時間外学習 | 準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習 | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技評価: 100% | |
| 教材 | 教科書 | なし | |
| | 参考書 | なし | |
| 学生への メッセージ | チャレンジする気持ちと自分を向き合う強さを大切に一緒に頑張ろう | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスコミュニケーション | | |
|--|--|---------------------------------------|------|--------|
| 授業名 | バレエⅠ | 担当教員名 | 角野由佳 | |
| 時間数 | 60 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | バレエの基本姿勢、立ち方、オンバランス、オフバランスの区別、回転もジャズのインパッセ、バレエのターンアウトパッセの区別などをつけさせる | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する バレエの基本姿勢で、ダンスに必要な体幹、他のダンスにもどうかすかを理解させながら、バーレッスンからセンターレッスンへ進める。 | | | |
| 【実務経験】 OSMバレエ講師…1995年～2005年、DAバレエ講師…2008年～2019年現在に至る 1999年尼崎市武庫之荘スミノバレエ開校 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | 各自、自己紹介、レッスン前のストレッチ、バレエの姿勢を保つ為の筋トレの方法 | | |
| 2 | 演習 | ターンアウトの使い方、バーレッスン | | |
| 3 | 演習 | ターンアウトの使い方復習、バーレッスン | | |
| 4 | 演習 | ルルベ、ポイントの使い方、アームスの使い方、バレレッスン | | |
| 5 | 演習 | 前週の復習、バー→センターレッスン | | |
| 6 | 演習 | バーレッスン、センターレッスン | | |
| 7 | 演習 | バーレッスン、センターレッスン | | |
| 8 | 演習 | 質問、疑問受付、その後バーレッスン、センターレッスン | | |
| 9 | 演習 | バーレッスン、センターレッスン | | |
| 10 | 演習 | バーレッスン、センターレッスン | | |
| 11 | 演習 | 試験の振付 | | |
| 12 | 演習 | 試験 | | |
| 13 | 演習 | 後期に向けての課題確認 | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習時間外学習 | ストレッチ、コアトレーニング | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技試験: 100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生へのメッセージ | ほぼ初バレエの生徒が多いため、好きでも嫌いでも、バレエはダンスに必要なことを理解してもらい、将来に繋げる為、努力してほしいと思います。楽しく厳しくレッスン進めたいと思います。 | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスコミュニケーション | | |
|--|--|---------------------------------------|-------|--------|
| 授業名 | バレエⅡ | | 担当教員名 | 角野由佳 |
| 時間数 | 60 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | バレエの基本姿勢、立ち方、オンバランス、オフバランスの区別、回転もジャズのインパッセ、バレエのターンアウトパッセの区別などをつけさせる | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する バレエの基本姿勢で、ダンスに必要な体幹、他のダンスにもどうかすかを理解させながら、バーレッスンからセンターレッスンへ進める。 | | | |
| 【実務経験】 OSMバレエ講師…1995年～2005年、DAバレエ講師…2008年～2019年現在に至る 1999年尼崎市武庫之荘スミノバレエ開校 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | 各自、自己紹介、レッスン前のストレッチ、バレエの姿勢を保つ為の筋トレの方法 | | |
| 2 | 演習 | ターンアウトの使い方、バーレッスン | | |
| 3 | 演習 | ターンアウトの使い方復習、バーレッスン | | |
| 4 | 演習 | ルルベ、ポイントの使い方、アームスの使い方、バレレッスン | | |
| 5 | 演習 | 前週の復習、バー→センターレッスン | | |
| 6 | 演習 | バーレッスン、センターレッスン | | |
| 7 | 演習 | バーレッスン、センターレッスン | | |
| 8 | 演習 | 質問、疑問受付、その後バーレッスン、センターレッスン | | |
| 9 | 演習 | バーレッスン、センターレッスン | | |
| 10 | 演習 | バーレッスン、センターレッスン | | |
| 11 | 演習 | 試験の振付 | | |
| 12 | 演習 | 試験 | | |
| 13 | 演習 | 後期に向けての課題確認 | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習時間外学習 | ストレッチ、コアトレーニング | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技試験: 100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生へのメッセージ | ほぼ初バレエの生徒が多いため、好きでも嫌いでも、バレエはダンスに必要なことを理解してもらい、将来に繋げる為、努力してほしいと思います。楽しく厳しくレッスン進めたいと思います。 | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスコミュニケーション | | |
|--|---|----------------------|-------|---------|
| 授業名 | K-POP I | | 担当教員名 | チェ・リョンヒ |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | K-POPのダンススタイルを習得する。1人1人のスキルアップ。 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 筋トレ、ウォーキングから始め、K-POPのダンススタイルを通じてそれぞれ個性を活かしてみせる練習。 | | | |
| 【実務経験】韓国アーティストのバックダンサー・アイドル育成、イ・リョリ、VIXX、ソンシギョン等コンサートにも出演、URIZIPスタジオ・GPスタジオでK-POPダンスを担当。 2018年にTaeワンマンライブに出演、他KARAスンヨンファンミーティング出演 | | | | |
| 日程 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | アップ、筋トレ、基礎 | | |
| 2 | 演習 | アップ、筋トレ、基礎 | | |
| 3 | 演習 | アップ、筋トレ、ウォーキング、振り | | |
| 4 | 演習 | アップ、筋トレ、ウォーキング、新しい振り | | |
| 5 | 演習 | アップ、筋トレ、ウォーキング、振り | | |
| 6 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 7 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 8 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 9 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 10 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 11 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 12 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 13 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 14 | 演習 | (ワークショップ) | | |
| 15 | 演習 | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 筋トレ、アイソレーション、振り確認、見せ方研究！！ | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生への メッセージ | ファイティン！！ | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスコミュニケーション | | |
|--|---|----------------------|-------|---------|
| 授業名 | K-POP Ⅱ | | 担当教員名 | チェ・リョンヒ |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | K-POPのダンススタイルを習得する。1人1人のスキルアップ。 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 筋トレ、ウォーキングから始め、K-POPのダンススタイルを通じてそれぞれ個性を活かしてみせる練習。 | | | |
| 【実務経験】韓国アーティストのバックダンサー・アイドル育成、イ・ヒョリ、VIXX、ソンシギョン等コンサートにも出演。Urizipスタジオ・gpスタジオでK-POPダンスを担当。 2018年にTaeワンマンライブに出演、他KARASUNYONファンミーティング出演 | | | | |
| 日程 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | アップ、筋トレ、基礎 | | |
| 2 | 演習 | アップ、筋トレ、基礎 | | |
| 3 | 演習 | アップ、筋トレ、ウォーキング、振り | | |
| 4 | 演習 | アップ、筋トレ、ウォーキング、新しい振り | | |
| 5 | 演習 | アップ、筋トレ、ウォーキング、振り | | |
| 6 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 7 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 8 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 9 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 10 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 11 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 12 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 13 | 演習 | 筋トレ→ウォーキング→振り渡し | | |
| 14 | 演習 | (ワークショップ) | | |
| 15 | 演習 | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 筋トレ、アイソレーション、振り確認、見せ方研究！！ | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生への メッセージ | ファイティン！！ | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスコミュニケーション | | |
|---------------|--|------------------------------|---------------|--------|
| 授業名 | POPPIN I | 担当教員名 | NOBOU(北之防 和志) | |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | POPのベーシックを使って踊れるようになる事 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する動きとリズム、音楽を意識しながら踊る | | | |
| 【実務経験】 | 指導歴20年 | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | POP、リズム、ウェーブ、ストップ | | |
| 2 | 演習 | POP、リズム、ウェーブ、ストップ | | |
| 3 | 演習 | POP、リズム、ウェーブ、ストップ | | |
| 4 | 演習 | ベーシック、グルーヴ | | |
| 5 | 演習 | ベーシック、ウォークアウト | | |
| 6 | 演習 | ベーシック、ネックオーバーフレックス | | |
| 7 | 演習 | ベーシック、ツイストオーバーフレックス、ボトムファースト | | |
| 8 | 演習 | ベーシック、マスターフレックス | | |
| 9 | 演習 | ベーシック、ルーティーン① | | |
| 10 | 演習 | ベーシック、ルーティーン①の続き | | |
| 11 | 演習 | ベーシック、ルーティーン② | | |
| 12 | 演習 | ベーシック、ルーティーン②の続き | | |
| 13 | 演習 | テスト | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | アイソレ、リズムトレーニング | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技試験60%、課題40% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生への メッセージ | 練習を積み重ねて基本的な質やベーシックを向上させていきましょう。それらを使って自由に楽しく踊れるダンサーになって下さい。 | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスコミュニケーション | | |
|---------------|--|------------------------------|---------------|--------|
| 授業名 | POPPIN II | 担当教員名 | NOBOU(北之防 和志) | |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | POPのベーシックを使って踊れるようになる事 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する動きとリズム、音楽を意識しながら踊る | | | |
| 【実務経験】 | 指導歴20年 | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | POP、リズム、ウェーブ、ストップ | | |
| 2 | 演習 | POP、リズム、ウェーブ、ストップ | | |
| 3 | 演習 | POP、リズム、ウェーブ、ストップ | | |
| 4 | 演習 | ベーシック、グルーヴ | | |
| 5 | 演習 | ベーシック、ウォークアウト | | |
| 6 | 演習 | ベーシック、ネックオーバーフレックス | | |
| 7 | 演習 | ベーシック、ツイストオーバーフレックス、ボトムファースト | | |
| 8 | 演習 | ベーシック、マスターフレックス | | |
| 9 | 演習 | ルーティーン① | | |
| 10 | 演習 | ルーティーン①の続き | | |
| 11 | 演習 | ルーティーン② | | |
| 12 | 演習 | ルーティーン②の続き | | |
| 13 | 演習 | テスト | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | アイソレ、リズムトレーニング | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技試験60%、課題40% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生への メッセージ | 練習を積み重ねて基本的な質やベーシックを向上させていきましょう。それらを使って自由に楽しく踊れるダンサーになって下さい。 | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスコミュニケーション | | |
|---------------|--|-------------------------------------|-------|------------|
| 授業名 | STREET I | | 担当教員名 | TOM(富田 麻里) |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | リズム取りから基本STEPをマスターする。 基本STEPの応用ができ、強弱、可動域の大きさなど十分に持ち、踊れるようにする。 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ストレッチ～STEPの動きの説明→実践→アドバイスを加える→実践 感覚をつかめるよう色々な言葉で説明を加える→実践を繰り返し間隔をつかんでもらう。 | | | |
| 【実務経験】 | DA、大学、ダンススクールでの5年以上の指導歴あり | | | |
| 回数 | 演習 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | リズム取り、体でリズムをキャッチ、リズムに乗る | | |
| 2 | 演習 | 基本STEP紹介→練習、足の運びをマスターする | | |
| 3 | 演習 | 基本STEP復習、ダウンアップ、強弱つけられるように | | |
| 4 | 演習 | ルーティン① | | |
| 5 | 演習 | 再度ルーティン練習、制度を高める | | |
| 6 | 演習 | 基本STEP紹介→練習、足の運びをマスターする細い足首の使い方マスター | | |
| 7 | 演習 | 復習、ダウンアップ、つま先かかとクリアに見せる練習 | | |
| 8 | 演習 | ルーティン② | | |
| 9 | 演習 | ルーティン復習、精度を高める | | |
| 10 | 演習 | 2つのルーティンを組み合わせたロングルーティン | | |
| 11 | 演習 | 2つのルーティンの練習、アドバイスしっかり入れる | | |
| 12 | 演習 | ルーティン完成させる | | |
| 13 | 演習 | 試験 | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 前回の復習をしておく。楽譜に目を通す。 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%) | 1.実技試験100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| | | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスコミュニケーション | | |
|---------------|--|-------------------------------------|-------|------------|
| 授業名 | STREET Ⅱ | | 担当教員名 | TOM(富田 麻里) |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | リズム取りから基本STEPをマスターする。 基本STEPの応用ができ、強弱、可動域の大きさなど十分に持ち、踊れるようにする。 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ストレッチ～STEPの動きの説明→実践→アドバイスを加える→実践 感覚をつかめるよう色々な言葉で説明を加える→実践を繰り返し間隔をつかんでもらう。 | | | |
| 【実務経験】 | DA、大学、ダンススクールでの5年以上の指導歴あり | | | |
| 回数 | 演習 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | リズム取り、体でリズムをキャッチ、リズムに乗る | | |
| 2 | 演習 | 基本STEP紹介→練習、足の運びをマスターする | | |
| 3 | 演習 | 基本STEP復習、ダウンアップ、強弱つけられるように | | |
| 4 | 演習 | ルーティン③ | | |
| 5 | 演習 | 再度ルーティン練習、制度を高める | | |
| 6 | 演習 | 基本STEP紹介→練習、足の運びをマスターする細い足首の使い方マスター | | |
| 7 | 演習 | 復習、ダウンアップ、つま先かかとクリアに見せる練習 | | |
| 8 | 演習 | ルーティン④ | | |
| 9 | 演習 | ルーティン復習、精度を高める | | |
| 10 | 演習 | 2つのルーティンを組み合わせたロングルーティン | | |
| 11 | 演習 | 2つのルーティンの練習、アドバイスしっかり入れる | | |
| 12 | 演習 | ルーティン完成させる | | |
| 13 | 演習 | 試験 | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 前回の復習をしておく。楽譜に目を通す。 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%) | 1.実技試験100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| | | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスコミュニケーション | | |
|---------------|---|--------------------------------------|--------|--------|
| 授業名 | テーマパークベーシックⅠ | 担当教員名 | 八幡谷 有希 | |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | (1)基礎の大切さの理解(2)身体で表現する事へのレッスンの受け方(3)プロになる為に必要な事への理解 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 自分の個性を見つけ表現力と技術を身に付ける | | | |
| 【実務経験】 | 某大手テーマパークにてダンサークラス。 ダンサー、キャラクターのオーディション振り付け | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | ダンスに必要な基礎を重点的に | | |
| 2 | 演習 | エクササイズを重点的に | | |
| 3 | 演習 | クロスフロアを基礎を重点的に(ジャンプ/バランス/ターン) | | |
| 4 | 演習 | クロスフロアの基礎のおさらいと応用への挑戦(ジャンプ/バランス/ターン) | | |
| 5 | 演習 | センターフロアでの振り付けを重点的に | | |
| 6 | 演習 | 振り付けの復習及び確認 | | |
| 7 | 演習 | 振り付けの復習及び確認 | | |
| 8 | 演習 | 振り付けに対しての魅せ方、表現力を身に付ける | | |
| 9 | 演習 | 振り付けに対しての魅せ方、表現力を身に付ける | | |
| 10 | 演習 | 表現力を重点的に自分の短所や長所を理解 | | |
| 11 | 演習 | 自分の個性を理解する | | |
| 12 | 演習 | 少人数で振り付けを踊れる様に慣れる | | |
| 13 | 演習 | 前期での復習と後期に向けての目標を立てる | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 常に見られている事を意識して生活し、美の意識も持ちファッションや化粧品も研究し、自分が綺麗に見える方法を研究してほしい。 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技試験: 100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生への メッセージ | この1年は、まず基本的な動きを確実に自分のものにして、自分の個性も見つけてほしい | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスコミュニケーション | | |
|--|---|--------------------------------------|--------|--------|
| 授業名 | テーマパークベーシックⅡ | 担当教員名 | 八幡谷 有希 | |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | (1)基礎の大切さの理解(2)身体で表現する事へのレッスンの受け方(3)プロになる為に必要な事への理解 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 自分の個性を見つけ表現力と技術を身に付ける | | | |
| 【実務経験】 某大手テーマパークにてダンサークラス。 ダンサー、キャラクターのオーディション振り付け | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | クロスフロアを基礎を重点的に(ジャンプ/バランス/ターン) | | |
| 2 | 演習 | クロスフロアを基礎を重点的に(ジャンプ/バランス/ターン) | | |
| 3 | 演習 | クロスフロアの基礎のおさらいと応用への挑戦(ジャンプ/バランス/ターン) | | |
| 4 | 演習 | クロスフロアの基礎のおさらいと応用への挑戦(ジャンプ/バランス/ターン) | | |
| 5 | 演習 | センターフロアでの振り付けを重点的に | | |
| 6 | 演習 | 振り付けの復習及び確認 | | |
| 7 | 演習 | 振り付けの復習及び確認 | | |
| 8 | 演習 | 振り付けに対しての魅せ方、表現力を身に付ける | | |
| 9 | 演習 | 振り付けに対しての魅せ方、表現力を身に付ける | | |
| 10 | 演習 | 表現力を重点的に自分の短所や長所を理解 | | |
| 11 | 演習 | 自分の個性を理解する | | |
| 12 | 演習 | 少人数で振り付けを踊れる様に慣れる | | |
| 13 | 演習 | 前期での復習と後期に向けての目標を立てる | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 常に見られている事を意識して生活し、美の意識も持ちファッションや化粧品も研究し、自分が綺麗に見える方法を研究してほしい。 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技試験: 100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生への メッセージ | この1年は、まず基本的な動きを確実に自分のものにして、自分の個性も見つけてほしい | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | アクティングコミュニケーション | |
|---|---|--|------|
| 授業名 | インプロビゼーションⅠ | 担当教員名 | 広瀬 謙 |
| 時間数 | 60 | 必修・選択 | 配当年次 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 |
| 授業の到達目標 | | | |
| 演技理論、演習を用いて、表現者としてのスキルをあげていくことは当然ではあるが、最終的には、人生全てにおいて、どのような困難が待ち受けていようと、それを乗り越えるための思考や力をつけていってもらうことが最大の目標。 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する | | |
| 今後、演技をやっていくにあたり、どう仕事と向き合うか、またどう自分と向き合っていくか、そういった「心構え」や「基礎」、「表現者としてどのような思考で挑めばいいか」をベースに、インプロビゼーション、メソッドアクティングを用いて、演技力、人間力、コミュニケーション能力を磨いていく。 | | | |
| 【実務経験】 1995年より芸能活動を始め、映画・テレビ・舞台で俳優として活動を続け、2011年より、演技やセミナーなど講師業もスタートさせる。現在は、劇団を立ち上げ、毎年公演。出演以外に脚本、演出も手掛ける。 | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | |
| 1 | 演習 | 表現者としての考え方。(俳優とは？人間力について) | |
| 2 | 演習 | 発想と柔軟.1(固定観念の存在、排除、楽しむということについて.1) | |
| 3 | 演習 | 発想と柔軟.2(必要性、想像力、楽しむということについて.2) | |
| 4 | 演習 | 発想と柔軟.3(目的意識、楽しむということについて.3) | |
| 5 | 演習 | 発想と柔軟.4(発想力、柔軟思考、楽しむということについて.4) | |
| 6 | 演習 | アクティビティ(今までのことを踏まえ、実際に「する」ということを体感させる) | |
| 7 | 演習 | 伝達と目的意識(伝えるということの重要性) | |
| 8 | 演習 | 感覚の再現(感覚を意識し、感情開放へと繋いでいく) | |
| 9 | 演習 | 感情開放.1(想像力、実際に体感させる) | |
| 10 | 演習 | 感情開放.2(シーンスタディ、エチュード) | |
| 11 | 演習 | 役者構築と不自由について(制限された中で楽しむということについて) | |
| 12 | 演習 | 役者視点.1(台本の読み方) | |
| 13 | 演習 | 役者視点.2(俳優としての挑み方、前期の集大成) | |
| 14 | | (ワークショップ) | |
| 15 | | (ワークショップ) | |
| 準備学習 時間外学習 | 何事にも関心を持つよう心掛けてください。また、本を読む習慣をつけてください。 | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 1)実技試験 100% | |
| 教材 | 教科書 | なし | |
| | 参考書 | なし | |
| 学生への メッセージ | 表現者としての心構え、基礎を学んでいただきます。 難しく考えず、楽しむことを追求するところから始めます。 | | |

スーパードダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | アクティングコミュニケーション | |
|--|---|-----------------------------------|------|
| 授業名 | インプロビゼーションⅡ | 担当教員名 | 広瀬謙 |
| 時間数 | 60 | 必修・選択 | 配当年次 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 |
| 授業の到達目標 | 801・2教室 | | |
| 演技理論、演習を用いて、表現者としてのスキルをあげていくことは当然ではあるが、最終的には、人生全てにおいて、どのような困難が待ち受けていようと、それを乗り越えるための思考や力をつけていってもらうことが最大の目標。 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する | | |
| 今後、表現の仕事をやっていくにあたり、どう仕事と向き合うか、またどう自分と向き合っていくか、そう言った「心構え」や「基礎」、「表現者としてどのような思考で挑めばいいか」をベースに、インプロビゼーション、メソッドアクティングを用いて、演技力、人間力、コミュニケーション能力を磨いていく。 | | | |
| 【実務経験】 | | | |
| 1995年より芸能活動を始め、映画・テレビ・舞台で俳優として活動をし続け、2011年より、演技やセミナーなど講師業もスタートさせる。現在は、劇団を立ち上げ、毎年公演。出演以外に脚本、演出も手掛ける。 | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | |
| 1 | 演習 | 前期の復習を兼ねた基礎学習。(インプロについて) | |
| 2 | 演習 | 発想と柔軟.5(固定観念の存在、排除、楽しむということ) | |
| 3 | 演習 | 発想と柔軟.6(必要性、想像力、楽しむということ) | |
| 4 | 演習 | 発想と柔軟.7(目的意識、楽しむということ) | |
| 5 | 演習 | 発想と柔軟.8(発想力、柔軟思考、楽しむということ) | |
| 6 | 演習 | 伝達と目的意識(伝えるということの重要性) | |
| 7 | 演習 | エチュード、シーンスタディ(シーンを用いた感情開放) | |
| 8 | 演習 | 役者構築と不自由について(制限された中で楽しむということについて) | |
| 9 | 演習 | エチュード、シーンスタディ(シーンを用いた感情開放) | |
| 10 | 演習 | 役者視点.1(台本の読み方) | |
| 11 | 演習 | エチュード、シーンスタディ(シーンを用いた感情開放) | |
| 12 | 演習 | エチュード、シーンスタディ(シーンを用いた感情開放) | |
| 13 | 演習 | 役者視点.2(俳優としての挑み方、後期の集大成) | |
| 14 | | (ワークショップ) | |
| 15 | | (ワークショップ) | |
| 準備学習 時間外学習 | 自分にとって感情が動いたことを集めてください。(喜怒哀楽自由) | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 1) 実技試験 100% | |
| 教材 | 教科書 | なし | |
| | 参考書 | なし | |
| 学生への メッセージ | 表現者としての心構え、基礎を学んでいってもらいます。 難しく考えず、楽しむことを追求するところから始めます。 | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | アクティングコミュニケーション | |
|--|---|--|---------|
| 授業名 | ナレーションⅠ | 担当教員名 | すずき まこと |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 |
| 授業の到達目標 | <p>・文章を読むことに興味を持ち、楽しみ、楽しませる。</p> <p>・正しいアクセント、発声を身に付ける。表現に必要な様々な要素を効果的に行えるようになる。</p> <p>・自身で506教室の機材を使えるようになる。</p> <p>・自分の特性を知り、より活かしていく方向を見出す。</p> | | |
| 授業の内容 | <p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>・日本語におけるアクセントや発声の特徴、ナレーションに求められる要素を解説。</p> <p>・新人発掘プレゼンテーションに向けたヴォイスサンプル作りのアシスト。</p> <p>・ナレーション文や映像を用いて音声録音の形式で実習。</p> <p>・録音した音声を再生し、良い点や修正点を一人ひとり具体的にアドバイス。課題発表。</p> | | |
| 【実務経験】 ナレーション、ゲームキャラクターの収録、アニメのアフレコ、音楽イベントの司会など | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | |
| 1 | 演習 | 授業内容とヴォイスサンプルについての説明／自己紹介 | |
| 2 | 演習 | ナレーション技術の基礎(1)……発声、アクセントについて | |
| 3 | 演習 | ナレーション技術の基礎(2)……発音、様々な強調の方法について | |
| 4 | 演習 | 新人発掘プレゼンテーションに向けたヴォイスサンプル模擬収録(1) | |
| 5 | 演習 | 新人発掘プレゼンテーションに向けたヴォイスサンプル模擬収録(2) | |
| 6 | 演習 | 新人発掘プレゼンテーションに向けたヴォイスサンプル模擬収録(3) | |
| 7 | 演習 | ナレーション技術の基礎(3)……無声化音について | |
| 8 | 演習 | ナレーション技術の基礎(4)……状態副詞について | |
| 9 | 演習 | 映像を使ったCMナレーション(1) | |
| 10 | 演習 | 夏季休暇の課題の説明／映像を使ったCMナレーション(2) | |
| 11 | 演習 | 映像を使ったCMナレーション(3) | |
| 12 | 演習 | 夏季休暇の課題の発表 | |
| 13 | 演習 | 夏季休暇の課題の発表(予備日)／前期の振り返りと後期に向けての目標確認 | |
| 14 | | (ワークショップ) | |
| 15 | | (ワークショップ) | |
| 準備学習 時間外学習 | 1.ボイスサンプルの素材作りと練習 2.夏季休暇の課題 | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 3.課題(100%)……夏季休暇の宿題として3つの課題に取り組んでもらいます。(収録した音声を第週に発表、およびプリントの提出) | |
| 教材 | 教科書 | 自作のテキスト、ナレーション文、DVD映像 | |
| | 参考書 | | |
| 学生への メッセージ | 言葉って楽しい！表現って楽しい！ 工夫と創造で、あなたの声を世界に届けましょう！ | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | アクティングコミュニケーション | | |
|--|---------|--|--|--------|
| 授業名 | ナレーションⅡ | 担当教員名 | すずきまこと | |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | 506教室 |
| 授業の到達目標 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・前期に引き続き、自分の特性や能力の可能性を探り、自己評価と自己修正ができるようになる。 ・前期で行ったナレーションの基礎を振り返り、実習の中で取り入れ、効果を実感する。 ・映像作品のナレーション作業に慣れ、必要なスキルを理解する。 | | | | |
| 授業の内容 ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・映像作品(テレビ番組、教養DVDなど)のナレーションの実技。映像や演出の意図を読み取って表現をする。 ・掛け合いのあるナレーションの実技。二人一組になって作品のムードを作り出す。 ・それらを録音形式で実習。フィードバックしていく。個別にアドバイス。修正と実行を繰り返す。 | | | | |
| 【実務経験】ナレーション、ゲームキャラクターの収録、アニメのアフレコ、音楽イベントの司会など | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 説明・講義 | 後期授業内容の説明／機材担当の割り振り／ヴォイスサンプルについて | | |
| 2 | 実習 | バラエティ番組のナレーション(1) | | |
| 3 | 実習 | バラエティ番組のナレーション(2) | | |
| 4 | 実習 | バラエティ番組のナレーション(3) | | |
| 5 | 実習 | VPナレーション「幼児向け教養DVD“あつまれねこちゃん”(1)」 | | |
| 6 | 実習 | VPナレーション「幼児向け教養DVD“あつまれねこちゃん”(2)」 | | |
| 7 | 実習 | VPナレーション「幼児向け教養DVD“あつまれねこちゃん”(3)」 | | |
| 8 | 実習 | 掛け合いのナレーション「クリスマス・イベント告知(1)」 | | |
| 9 | 実習 | 掛け合いのナレーション「クリスマス・イベント告知(2)」 | | |
| 10 | 実習 | VPナレーション「DVD“世界の鉄道 絶景の旅 美しき地球の箱庭”(1)」 | | |
| 11 | 実習 | VPナレーション「DVD“世界の鉄道 絶景の旅 美しき地球の箱庭”(2)」 | | |
| 12 | 実習 | VPナレーション「DVD“世界の鉄道 絶景の旅 美しき地球の箱庭”(3)」 | | |
| 13 | 実習 | VPナレーション「DVD“世界の鉄道 絶景の旅 美しき地球の箱庭”(4)」 | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | | ヴォイスサンプル素材は各自で用意。相談やアドバイスは授業後に受け付けます。 | | |
| 成績評価 | | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 第10～13週のVPナレーションをテスト素材とし、12～13週に実技試験を行う。 アクセント、発声・滑舌、表現、工夫、積極性を評価対象とする。(100%) | |
| 教材 | 教科書 | 自作のテキスト、ナレーション文、DVD映像 | | |
| | 参考書 | | | |
| 学生への メッセージ | | 様々な視聴者を対象とした映像作品のナレーションにチャレンジしてください。 そして、工夫と創造を楽しみましょう！ | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 科目名 | | アクティングコミュニケーション | | |
|---|--|-------------------------------------|-------|--------|
| 授業名 | 殺陣Ⅰ | | 担当教員名 | 中村 信行 |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | 大・小刀、槍、六尺、古武道、総じて基本になるさばきを習得して、まずはチャンバラを好きになることが目標。 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 業界人を目指す特殊技術の習得 | | | |
| 【実務経験】 殺陣振り付け：藤田まこと・村田英雄・中川雅史・大衆演劇 / 映像：必殺仕事人・はぐれ刑事・剣客商売 他/自主制作公演：次郎長・水澄めば月映える 等 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | 足さばき・素振り・打ち込み(交互)を習得することが出来る | | |
| 2 | 演習 | 足さばき・素振り・左(右)廻り・打ち込み(交互)を理解することが出来る | | |
| 3 | 演習 | 技き銅・形・打ち込み・千鳥・突き・左(右)廻りを理解することが出来る | | |
| 4 | 演習 | 突き・打ち込み・千鳥・技き銅・左(右)廻りを習得することが出来る | | |
| 5 | 演習 | 右回り・左回り・山形・なし割を理解することが出来る | | |
| 6 | 演習 | なし割・山形・技き銅を習得することが出来る | | |
| 7 | 演習 | 基本型の復習・八の字・ちどりを理解することが出来る | | |
| 8 | 演習 | 袈裟り・八の字を理解することが出来る | | |
| 9 | 演習 | 袈裟り・八の字を習得することが出来る | | |
| 10 | 演習 | 立ち廻り(1:3)を理解することが出来る | | |
| 11 | 演習 | 立ち廻り(1:3)を理解することが出来る | | |
| 12 | 演習 | 立ち廻り(1:3)を理解することが出来る | | |
| 13 | 演習 | 立ち廻り(1:3)を習得することが出来る | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 舞台観劇・ワークショップ・映画(時代劇・洋画・アクション物) 反復稽古 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生への メッセージ | 初めは全員一緒です。 稽古を休まないで参加して頂ければ、上達はそこが決め手 まわりと比べない事です。 | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 科目名 | | アクティングコミュニケーション | | |
|--|--|---------------------------|-------|--------|
| 授業名 | 殺陣Ⅱ | | 担当教員名 | 中村 信行 |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | 大・小刀、槍、六尺、古武道、総じて基本になるさばきを習得して、まずはチャンバラを好きになることが目標。 現場に推薦できるようになる。 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 初級で学んだ基本をベースに演技表現として立ち振る舞い、所作、礼儀作法、特殊技術の習得 | | | |
| 【実務経験】 殺陣振り付け: 藤田まこと・村田英雄・中川雅史・大衆演劇 / 映像: 必殺仕事人・はぐれ刑事・剣客商売 他/自主制作公演: 次郎長・水澄めば月映える 等 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | 基本型の復習をし、理解することが出来る | | |
| 2 | 演習 | 基本型の復習をし、習得することが出来る | | |
| 3 | 演習 | 逆手切り・槍の立ち居振る舞いを理解することが出来る | | |
| 4 | 演習 | 逆手切り・槍の立ち居振る舞いを習得することが出来る | | |
| 5 | 演習 | 二刀流・立ち回りを理解することが出来る | | |
| 6 | 演習 | 二刀流・立ち回りを習得することが出来る | | |
| 7 | 演習 | 槍・六尺を理解することが出来る | | |
| 8 | 演習 | 槍・六尺を理解することが出来る | | |
| 9 | 演習 | 槍・六尺を理解することが出来る | | |
| 10 | 演習 | 槍・六尺を習得することが出来る | | |
| 11 | 演習 | 居合い・立ち回りを理解することが出来る | | |
| 12 | 演習 | 居合い・立ち回りを理解することが出来る | | |
| 13 | 演習 | 居合い・立ち回りを習得することが出来る | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 舞台観劇・ワークショップ・ 映画(アクション物・時代劇・洋画)・反復稽古 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技試験100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生への メッセージ | 初めは全員一緒です。 稽古を休まないで参加して頂ければ上達はそこが決め手 まわりと比べない事です。 | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | アクティングコミュニケーション | |
|---|----------|---|-----------|
| 授業名 | 発声・滑舌Ⅰ | 担当教員名 | 白波瀬 勲 |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 |
| 授業の到達目標 | | | |
| しっかり届く声、明瞭な発音、豊かな表現を身につけて わかりやすく印象良く文章が読めたり、話したりできるようになる！ | | | |
| 授業の内容 | | | |
| 腹式呼吸による発声、明瞭な発音のためのトレーニングに加え、共通語のアクセントや抑揚、間、強弱、緩急、強弱など表現技術も学びます。 | | | |
| 実務経験 | | | |
| FM大阪 ニュース業務 朝日放送ラジオ「ABC土曜リクエスト」他 深夜番組DJ 日本直販など通販 ナレーションやCM／番組NA多数 各種司会 講師(話し方・朗読 ボイストレーニング など) | | | |
| | 授業形態 | 内容 | |
| | 演習 | オリエンテーション 発声の理論と実技 ウォーミングアップ 発声実技 | |
| | 演習 | ★以下↓毎回 発声・滑舌トレーニング ア行と「アメンボ赤いな」 | |
| | 演習 | 「アメンボ赤いな」 共通語のアクセント 表現技術(強調・間・抑揚など) | |
| | 演習 | ★アクセントと表現技術は以下、毎回 鼻濁音・無声化について | |
| | 演習 | CM原稿を読んでもみる(録音) ※生徒の進捗を見ながら滑舌練習 | |
| | 演習 | 表現とアクセントなど、ここまでのおさらい ※録音⇒モニター | |
| | 演習 | 「外郎売り」冒頭部分(暗記) | |
| | 演習 | 群読:届く声が出るように みんなでハキハキ声を出す | |
| | 演習 | 群読:表現を工夫しながらみんなで読み継いでいく | |
| | 演習 | 「外郎売り」「アメンボ赤いな」で発声と滑舌の基礎練習 | |
| | 演習 | 実際に文章を読んでもみる | |
| | 演習 | 実際に文章を読んでもみる | |
| | 演習 | 総まとめ(弱い部分を個々にアドバイス) | |
| | | (ワークショップ) | |
| 15 | ()月()日 | テキストを使った予習復習 | (ワークショップ) |
| 準備学習 時間外学習 | | 各自、普段の生活の中でよりレベルの高い発声・滑舌を意識する | |
| 成績評価 | | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | |
| | | 期末の実技(40)と筆記試験(10)で計50% 授業内評価(平常点):50% | |
| 教材 | 教科書 | 発声・滑舌 アクセント トレーニング教本(滋慶出版) | |
| | 参考書 | ※必要に応じて「日本語しことば協会 教本」 | |
| | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | アクティングコミュニケーション | |
|---|---|---------------------------------|-------|
| 授業名 | 発声・滑舌Ⅱ | 担当教員名 | 白波瀬 勲 |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 |
| 授業の到達目標 | <p>しっかり届く声、明瞭な発音、豊かな表現力の基本を身につける。</p> <p>10メートル前の人の耳にもちゃんと届く発声。聞き取りやすい明瞭な発音、棒読みでない変化のある読みができるようになること。</p> | | |
| 授業の内容 | <p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>これまでのキャリアから、声の出し方、表情に至るまで、タレントして成立するための基本を個人個人の持ち味に合わせて指導します。例えば、表現が好きなら“もっと笑って！” その場にいるような気持ちになって～っ！”と具体的なアドバイスでその生徒の力を伸ばします。</p> | | |
| 【実務経験】FM大阪ニュース業務。ABC朝日放送ラジオDJ。日本直販はじめ数社のテレビショッピングやCMのナレーション多数。朗読・話し方・スピーチの講師など。 | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | |
| 1 | 演習 | オリエンテーション 発声の理論と実技 ウォーミングアップなど | |
| 2 | 演習 | ◆以下、毎回 テキストを使って各行の滑舌練習 原稿を読む | |
| 3 | 演習 | アクセント、プロミネンス、イントネーションなどの復習 ・実技 | |
| 4 | 演習 | 鼻濁音・無声化の復習 文章を読む | |
| 5 | 演習 | 「あめんぼ赤いな」「外郎売り」がちゃんとできるか？確認！ | |
| 6 | 演習 | ここまでのおさらい。理論や実技…ハキハキ声が出るように実技。 | |
| 7 | 演習 | CM原稿で、声のコントロール、表現力を身につける | |
| 8 | 演習 | 詩の朗読(ひとり読み) | |
| 9 | 演習 | ナレーション原稿のひとり読み | |
| 10 | 演習 | 進み具合によって教材を選びます。発声・滑舌・表現力のおさらい。 | |
| 11 | 演習 | 進み具合によって教材を選びます。発声・滑舌・表現力のおさらい。 | |
| 12 | 演習 | 実技+翌週の試験の要領告知など | |
| 13 | 演習 | 期末テスト(実技) | |
| 14 | | (ワークショップ) | |
| 15 | | (ワークショップ) | |
| 準備学習 時間外学習 | テキストを使った予習復習 | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技と筆記(70%) 授業内評価(実技/小テストなど30%) | |
| 教材 | 教科書 | 発声・滑舌とアクセントのトレーニング教本 | |
| | 参考書 | ※授業の進み具合を見ながら作る 講師のオリジナルプリント | |
| 学生への メッセージ | タレントとしての基礎が愉しく身に付きますよ！！ | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | アクティングコミュニケーション | | |
|--|---|----------------------------|-------|--------|
| 授業名 | 舞台プロジェクト(リコモーション)Ⅰ | 担当教員名 | 中川 浩三 | |
| 時間数 | 90 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | 後期の舞台公演に向けての基礎技術、グループ行動 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 月1回ペースでのグループ発表。(5～10分程度) あらかじめ決めたテーマに基づき学生自身で台本を作成。 発表を通し、発声・滑舌の基礎技術、観客への伝え方、また自分自身の客観的な視点などを向上させる。 | | | |
| 【実務経験】1989～1994まで劇団そばごまち在籍(座長、生瀬勝久)。退団後もTV、舞台等幅広く活動。 近年の主な出演にNHK連続テレビ小説「わろてんか」「べっぴんさん」「あさが来た」「ごちそうさん」、映画「居眠り磐音」「超高速参勤交代リターンズ」「駆込み女と駆出し男」など。 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | 授業内容説明。肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。 | | |
| 2 | 演習 | 肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。 | | |
| 3 | 演習 | 肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。 | | |
| 4 | 演習 | 肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。 | | |
| 5 | 演習 | 発表① | | |
| 6 | 演習 | 肉錬、発声。発表②に向けての創作活動。 | | |
| 7 | 演習 | 肉錬、発声。発表②に向けての創作活動。 | | |
| 8 | 演習 | 肉錬、発声。発表②に向けての創作活動。 | | |
| 9 | 演習 | 発表② | | |
| 10 | 演習 | 肉錬、発声。発表③に向けての創作活動。 | | |
| 11 | 演習 | 肉錬、発声。発表③に向けての創作活動。 | | |
| 12 | 演習 | 発表③。夏期課題説明。 | | |
| 13 | 演習 | 夏期課題発表 | | |
| 14 | 演習 | | | |
| 15 | 演習 | | | |
| 準備学習 時間外学習 | 発声・滑舌等の基礎的な練習 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技試験100% | | |
| 教材 | 教科書 | 特になし | | |
| | 参考書 | 特になし | | |
| 学生への メッセージ | 遊びこそ真剣に遊べ。 エンターテインメントは遊びなんだ。 遊びを遊びで終わらすのは素人である。 遊びを真剣に遊べるバカこそ、真のエンターテイナー。 | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | アクティングコミュニケーション | | |
|---|---|---------------------|-------|--------|
| 授業名 | 舞台プロジェクト(リコモーション)Ⅱ | 担当教員名 | 中川 浩三 | |
| 時間数 | 90 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | 後期の舞台公演に向けての基礎技術、グループ行動 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 月1回ペースでのグループ発表。(5～10分程度) あらかじめ決めたテーマに基づき学生自身で台本を作成。 発表を通し、発声・滑舌の基礎技術、観客への伝え方、また自分自身の客観的な視点などを向上させる。 | | | |
| 【実務経験】 1989～1994まで劇団そばこまち在籍(座長、生瀬勝久)。退団後もTV、舞台等幅広く活動。 近年の主な出演にNHK連続テレビ小説「わろてんか」「べっぴんさん」「あさが来た」「ごちそうさん」、映画「居眠り磐音」「超高速参勤交代リターンズ」「駆込み女と駆出し男」など。 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | 肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。 | | |
| 2 | 演習 | 肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。 | | |
| 3 | 演習 | 発表① | | |
| 4 | 演習 | 公演出演者オーディション実施・決定 | | |
| 5 | 演習 | 稽古開始。台本(一部)使用。 | | |
| 6 | 演習 | 稽古 | | |
| 7 | 演習 | 稽古。上演台本完成予定。キャスト決定。 | | |
| 8 | 演習 | 稽古 | | |
| 9 | 演習 | 稽古 | | |
| 10 | 演習 | 稽古 | | |
| 11 | 演習 | 稽古 | | |
| 12 | 演習 | 稽古。以降集中稽古。 | | |
| 13 | 演習 | 卒業・進級公演の総括。 | | |
| 14 | 演習 | | | |
| 15 | 演習 | | | |
| 準備学習 時間外学習 | 発声・滑舌等の基礎的な練習 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技試験100% | | |
| 教材 | 教科書 | 特になし | | |
| | 参考書 | 特になし | | |
| 学生への メッセージ | 遊びこそ真剣に遊べ。 エンターテインメントは遊びなんだ。 遊びを遊びで終わらすのは素人である。 遊びを真剣に遊べるバカこそ、真のエンターテイナー。 | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | アクティングコミュニケーション | | |
|------------------------|---|----------------------------|-------|---------|
| 授業名 | 舞台プロジェクト(吉本)Ⅰ | 担当教員名 | 大工 富明 | |
| 時間数 | 120 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | 801.2教室 |
| 授業の到達目標 | 学園祭の新喜劇公演を通じて笑いを取りながら、演じることが出来る。 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 吉本新喜劇を演じるに関してスキルを身につけられるようなエチュードをさせていきスキルアップを目指す授業をしていきます | | | |
| 【実務経験】吉本新喜劇の作・演出を30年以上 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | 新喜劇のエチュード基礎編 | | |
| 2 | 演習 | 新喜劇のエチュード基礎編2 | | |
| 3 | 演習 | 笑いの作り方 | | |
| 4 | 演習 | 滑舌のエチュード。ルールに沿って笑いを作るエチュード | | |
| 5 | 演習 | 学園祭新喜劇稽古 | | |
| 6 | 演習 | 学園祭新喜劇稽古2 | | |
| 7 | 演習 | 学園祭新喜劇稽古3 | | |
| 8 | 演習 | 学園祭反省会 | | |
| 9 | 演習 | 新喜劇稽古1 | | |
| 10 | 演習 | 新喜劇稽古2 | | |
| 11 | 演習 | 新喜劇稽古3 | | |
| 12 | 演習 | 新喜劇稽古4 | | |
| 13 | 演習 | 発表 | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 授業内容をよく理解し翌週までに練習をしておく | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 1.実技試験を100% | | |
| 教材 | 教科書 | オリジナルのミニ台本 | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生への メッセージ | 笑いを取りながら演じる喜びを知ってほしい | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ヴォーカルコミュニケーション | |
|---------------|---|--------------------------------|------|
| 授業名 | ヴォイストレーニングⅠ | 担当教員名 | 吉村元子 |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 |
| 授業の到達目標 | 歌う為の基礎を学び、基礎力を定着させる | | |
| 授業の内容 | <p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するヴォーカリストとしての体作りと発声法の習得が主な内容。トレーニング方法を知り、積み重ねていくことで、歌の表現の幅を広げる。</p> <p>実務経験者：1988年大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業、教員免許取得。在学中より、バックコーラスとして宝塚歌劇団やTV、CMに出演。2000年よりヴォイストレーナーとして指導にあたり、数々のアーティストを輩出している。</p> | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | |
| 1 | 演習 | ヴォーカリストとしての心構え、VTの必要性 | |
| 2 | 演習 | 歌う為のフォーム(正しい姿勢、見せ方) | |
| 3 | 演習 | 発声のメカニズム(歌う時の体の仕組み) | |
| 4 | 演習 | ナチュラルヴォイス(自分のベストな声を知る) | |
| 5 | 演習 | 腹式呼吸 | |
| 6 | 演習 | 表情筋と声の繋がり | |
| 7 | 演習 | ブレスコントロール(自由な歌唱表現の為のプレストレーニング) | |
| 8 | 演習 | ピッチコントロール(正しい音程を身につける為のトレーニング) | |
| 9 | 演習 | 母音と子音の役割 | |
| 10 | 演習 | 正しい発音を身につける為の発音・滑舌トレーニング | |
| 11 | 演習 | 共鳴について(声の響きを理解する) | |
| 12 | 演習 | リズムトレーニング | |
| 13 | 演習 | まとめ | |
| 14 | | (ワークショップ) | |
| 15 | | (ワークショップ) | |
| 準備学習 時間外学習 | トレーニング前は体をほぐしておく。トレーニング内容については、反復練習。 | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 1.実技試験100% | |
| 教材 | 教科書 | | |
| | 参考書 | | |
| 学生への メッセージ | 毎日の積み重ねが力になります。基本に忠実にトレーニングしながら、自分の声の魅力を存分に知り、歌に活かしましょう。 | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ヴォーカルコミュニケーション | | |
|--|--|-------------------------------------|------|--------|
| 授業名 | ヴォイストレーニングⅡ | 担当教員名 | 吉村元子 | |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | | | | |
| 歌う為の基礎を学び、基礎力を定着させる | | | | |
| 授業の内容 | | | | |
| ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するヴォーカリストとしての体作りと発声法の習得が主な内容。トレーニング方法を知り、積み重ねていくことで、歌の表現の幅を広げる。 実務経験者：1988年大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業、教員免許取得。在学中より、バックコーラスとして宝塚歌劇団やTV、CMに出演。2000年よりヴォイストレーナーとして指導にあたり、数々のアーティストを輩出している。 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | 前期の復習をしながら、トレーニングの流れを理解し実践する。 | | |
| 2 | 演習 | 低音域のトレーニングにより、低音域の声を安定させる。 | | |
| 3 | 演習 | 低音域の安定と中音域への響きのスムーズな移行を学び、実践する。 | | |
| 4 | 演習 | 低音域、中音域、高音域それぞれの共鳴を学び、実践する。 | | |
| 5 | 演習 | チェンジも含めた声のスムーズな移行の仕方を学び、実践する。 | | |
| 6 | 演習 | リーディング(楽譜を用いて歌唱法を学び、楽譜ベースで歌えるようになる) | | |
| 7 | 演習 | プレスコントロール(プレスを活かした歌唱を習得する) | | |
| 8 | 演習 | リズムトレーニング(正確なリズムを理解し、歌唱できるようになる) | | |
| 9 | 演習 | ハーモニー練習(声のバランスを考えながらハーモニーを作れるようになる) | | |
| 10 | 演習 | 課題曲①(これまでに習得した発声法を歌唱に活かす) | | |
| 11 | 演習 | 課題曲②(グループごとにハーモニーも含めて練習) | | |
| 12 | 演習 | 課題曲発表(トレーニング内容が歌の表現に繋がるように) | | |
| 13 | 演習 | 課題曲発表の振り返りと個々の新たなトレーニング内容を作成する。 | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | トレーニング前は体をほぐしておく。トレーニング内容については、反復練習。 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 1.実技試験100% | | |
| 教材 | 教科書 | | | |
| | 参考書 | | | |
| 学生への メッセージ | 毎日の積み重ねが力になります。基本に忠実にトレーニングしながら、自分の声の魅力を存分に知り、歌に活かしましょう。 | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ヴォーカルコミュニケーション | | |
|--|--|--|-------|-----------|
| 授業名 | ヴォーカルテクニックⅠ | 担当教員名 | 桜田ヒロキ | |
| 時間数 | 60 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | EN432,232 |
| 授業の到達目標 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・声の発せられるメカニズムの理解・自分の行うべき改善目標の具体化 ・具体化された目標を実際に到達させるためのトレーニングの日常化(トレーニング・メニューは別紙ご参照ください) ・隔週で個別に声の状態を確認し、常に的確なエクササイズの割り当てを目指す | | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する | | | |
| ハリウッド式ボイストレーニング(VocalizeUで使われる発声理論)を用いて音域の拡大・音色の改善・声量の増強を行う・歌唱スタイルの学習 ・シンガーのためのリズムトレーニングの習得 | | | | |
| 【実務経験】マイケル・ジャクソン、スティービー・ワンダーのコーチSeth Riggsのトレーニングメソッドの日本人2人目の公認インストラクター。アーティスト担当、ライブ帯同多数。 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | セミナー形式でそれぞれの悩みを聞き、実際に解決。前期に行うメニューのオーバー・ビューを見せる | | |
| 2 | 演習 | トレーニング・メニュー、声の弱点タイプの理解(別紙参照) | | |
| 3 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て | | |
| 4 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、生理学的な声帯の動きを理解する | | |
| 5 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て | | |
| 6 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、ビブラートに対する理解・エクササイズ | | |
| 7 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て | | |
| 8 | 演習 | 歌唱スタイル・歌い回しについて解説 リズムトレーニング8分系の曲のグループ練習 | | |
| 9 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て | | |
| 10 | 演習 | 歌唱スタイル・歌い回しについて解説 リズムトレーニング3連符系の曲のグループ練習 | | |
| 11 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て | | |
| 12 | 演習 | 歌唱スタイル・歌い回しについて解説 リズムトレーニング16分音符系の曲のグループ練習 | | |
| 13 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 個人練習 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技試験: 100% | | |
| 教材 | 教科書 | | | |
| | 参考書 | | | |
| 学生への メッセージ | 発声法を学ぶだけでなく、音声学や生理学の観点からも声について学習し、自分で声をトレーニングできるようになる事を目指しましょう。理論までしっかり固めておけば、卒業後にトレーナーとして働く事も出来ますよ! | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ヴォーカルコミュニケーション | | |
|--|--|--|-------|-----------|
| 授業名 | ヴォーカルテクニックⅡ | 担当教員名 | 桜田ヒロキ | |
| 時間数 | 60 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | EN432,232 |
| 授業の到達目標 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・声の発せられるメカニズムの理解・自分の行うべき改善目標の具体化 ・具体化された目標を実際に到達させるためのトレーニングの日常化(トレーニング・メニューは別紙ご参照ください) ・隔週で個別に声の状態を確認し、常に的確なエクササイズの割り当てを目指す | | | | |
| 授業の内容 ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する | | | | |
| ハリウッド式ボイストレーニング(VocalizeUで使われる発声理論)を用いて音域の拡大・音色の改善・声量の増強を行う・歌唱スタイルの学習 ・シンガーのためのリズムトレーニングの習得 | | | | |
| 【実務経験】マイケル・ジャクソン、スティービー・ワンダーのコーチSeth Riggsのトレーニングメソッドの日本人2人目の公認インストラクター。アーティスト担当、ライブ帯同多数。 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | セミナー形式でそれぞれの悩みを聞き、実際に解決。前期に行うメニューのオーバー・ビューを見せる | | |
| 2 | 演習 | トレーニング・メニュー、声の弱点タイプの理解(別紙参照) | | |
| 3 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て | | |
| 4 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、生理学的な声帯の動きを理解する | | |
| 5 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て | | |
| 6 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、ビブラートに対する理解・エクササイズ | | |
| 7 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て | | |
| 8 | 演習 | 歌唱スタイル・歌い回しについて解説 リズムトレーニング8分系の曲のグループ練習 | | |
| 9 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て | | |
| 10 | 演習 | 歌唱スタイル・歌い回しについて解説 リズムトレーニング3連符系の曲のグループ練習 | | |
| 11 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て | | |
| 12 | 演習 | 歌唱スタイル・歌い回しについて解説 リズムトレーニング16分音符系の曲のグループ練習 | | |
| 13 | 演習 | トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 個人練習 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技試験: 100% | | |
| 教材 | 教科書 | | | |
| | 参考書 | | | |
| 学生への メッセージ | 発声法を学ぶだけでなく、音声学や生理学の観点からも声について学習し、自分で声をトレーニングできるようになる事を目指しましょう。理論までしっかり固めておけば、卒業後にトレーナーとして働く事も出来ますよ! | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ヴォーカルコミュニケーション | |
|--|---|-----------------------|------|
| 授業名 | ゴスペルアンサンブルⅠ | 担当教員名 | 池末 信 |
| 時間数 | 60 | 必修・選択 | 配当年次 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 |
| 授業の到達目標 | | | |
| 「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じれること。 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する | | |
| 世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。 | | | |
| 【実務経験】アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。 | | | |
| 日程 | 授業形態 | 内容 | |
| 1 | 演習 | 説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー | |
| 2 | 演習 | メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲 | |
| 3 | 演習 | 3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス | |
| 4 | 演習 | 楽曲復習、パフォーマンスレクチャー | |
| 5 | 演習 | 楽曲復習、パフォーマンスレクチャー | |
| 6 | 演習 | 3曲新曲、選択理論ワーク | |
| 7 | 演習 | 3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス | |
| 8 | 演習 | 3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス | |
| 9 | 演習 | プレイフルワーク、楽曲復習 | |
| 10 | 演習 | 楽曲復習、新曲レクチャー | |
| 11 | 演習 | 楽曲復習、新曲レクチャー | |
| 12 | 演習 | 楽曲復習、ケイティワーク | |
| 13 | 演習 | 新曲レクチャー | |
| 14 | | (ワークショップ) | |
| 15 | | (ワークショップ) | |
| 準備学習 時間外学習 | ①週目は準備はなく、②週目以降は楽曲復習・学びの振り返り | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技試験: 100% | |
| 教科 書 | 教科書 | | |
| | 参考書 | | |
| 学生への メッセージ | 心技体において確実な成長を体感し、自分自身を自由にさせ、学びを信じ、「ゴスペル学びの先に本物になれる」 | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ヴォーカルコミュニケーション | |
|--|--|------------------------|------|
| 授業名 | ゴスペルアンサンブルⅡ | 担当教員名 | 池末 信 |
| 時間数 | 60 | 必修・選択 | 配当年次 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 |
| 授業の到達目標 | | | |
| 心技体において確実な成長を体感し、講師からの客観的視点より成長を認めれること。それらをゴスペルアンサンブルメンバー全員で達成できていること。 | | | |
| 授業の内容 | ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する | | |
| 世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。 | | | |
| 【実務経験】アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。 | | | |
| 日程 | 授業形態 | 内容 | |
| 1 | 演習 | 選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー | |
| 2 | 演習 | 楽曲復習 | |
| 3 | 演習 | 楽曲復習、パフォーマンスレクチャー | |
| 4 | 演習 | 新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー | |
| 5 | 演習 | 楽曲復習、動き復習 | |
| 6 | 演習 | ケイティワーク、2曲新曲 | |
| 7 | 演習 | 楽曲復習、動き復習 | |
| 8 | 演習 | 楽曲復習 | |
| 9 | 演習 | 新曲2曲レクチャー、楽曲復習 | |
| 10 | 演習 | 発表会リハーサル演習 | |
| 11 | 演習 | 発表会リハーサル演習 | |
| 12 | 演習 | 発表会リハーサル演習 | |
| 13 | 演習 | 総復習 | |
| 14 | | (ワークショップ) | |
| 15 | | (ワークショップ) | |
| 準備学習 時間外学習 | ①週目は準備はなく、②週目以降は楽曲復習・学びの振り返り | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技試験: 100% | |
| 教科書 | 教科書 | | |
| | 参考書 | | |
| 学生への メッセージ | 心技体において確実な成長を体感し、自分自身を自由にさせ、学びを信じ、「ゴスペル学びの先に本物になれる | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | アクティングプロジェクト | | |
|--|---------------|--------------------------------------|-----------|--------|
| 授業名 | アクティングプロジェクトⅠ | | 担当教員名 | |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | | | | |
| 舞台演劇の本番に向けて、エチュード、スクリプトワークを通じて演出、構成を学び、チームでの舞台演劇制作が出来るようになる。 | | | | |
| 授業の内容 | | | | |
| スクリプトアナライズ、インプロビゼーションなどで学んだ演技の基礎から発展させ自分自身の演出や構成での舞台制作を行う。 本番制作までの過程を通じて、顧客満足の考え方、チームマネジメント、セルフマネジメントを学ぶ。 | | | | |
| 【実務経験】 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 2 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 3 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 4 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 5 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 6 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 7 | 演習 | 本番 | | |
| 8 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 9 | 演習 | 本番 | | |
| 10 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 11 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 12 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 13 | 演習 | 本番 | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | | 準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習 | | |
| 成績評価 | | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技評価:100% | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生への メッセージ | | チャレンジする気持ちと自分を向き合う強さを大切に一緒に頑張ろう | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | アクティングプロジェクト | | |
|--|---------------|--------------------------------------|-----------|--------|
| 授業名 | アクティングプロジェクトⅡ | | 担当教員名 | |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | | | | |
| 舞台演劇の本番に向けて、エチュード、スクリプトワークを通じて演出、構成を学び、チームでの舞台演劇制作が出来るようになる。 | | | | |
| 授業の内容 | | | | |
| スクリプトアナライズ、インプロビゼーションなどで学んだ演技の基礎から発展させ自分自身の演出や構成での舞台制作を行う。 本番制作までの過程を通じて、顧客満足の考え方、チームマネジメント、セルフマネジメントを学ぶ。 | | | | |
| 【実務経験】 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 2 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 3 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 4 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 5 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 6 | 演習 | 本番 | | |
| 7 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 8 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 9 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 10 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 11 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 12 | 演習 | エチュードづくり | | |
| 13 | 演習 | 本番 | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | | 準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習 | | |
| 成績評価 | | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技評価:100% | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生への メッセージ | | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | | ヴォーカルプロジェクト | |
|---|--------------|---|-------------|--------|
| 授業名 | ヴォーカルプロジェクトⅠ | | 担当教員名 | |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | | | | |
| 1: ショークワイア用にアレンジされた楽譜を使用することで音楽理論やソルフェージュ、音楽用語などの総合的な活用を理解実践する 2: 学生リーダー制を導入することで自身の得意分野を生かした相互協力概念、調整能力を養いエンターテインメント業界で求められるコミュニケーションを実践する 3: それぞれの能力に応じた役回りでベストなパフォーマンスを行う 4: 外部出演の依頼に応える事の出来る音楽的な基礎体力を養う 5: 全ての過程を通して練習の重要性を理解し、全員が確かな成功体験を得る | | | | |
| 授業の内容 | | | | |
| ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 実際の現場経験や業務内容を基に、現場で必要になるリアルなノウハウを伝えていきます。現場で必要になる専門的な音楽知識、技術を具体的に教材に盛り込むために当講義用にアレンジ(編曲)されたボーカル+コーラスの譜面を使用し、制作過程も含めて理解できるように促します。それぞれに役回りを持たせ協力しながら練習や準備を行う中で、各学生の特徴を活かし全員が輝けるパフォーマンスを目指します。発表時に全員が達成感を得られるよう、実際の現場における本番までの過程を踏襲しながら学んでいきます。 | | | | |
| 【実務経験】 | | | | |
| | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | ショークワイア概観 履修学生のレベルチェック | | |
| 2 | 演習 | 課題曲の配布 パート分け リーダー決めと練習方針についてディスカッション | | |
| 3 | 演習 | 発声指導 パートリーダー決め パートミーティング 課題曲音取り練習 | | |
| 4 | 演習 | 発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション | | |
| 5 | 演習 | 発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション | | |
| 6 | 演習 | 学園祭楽曲練習 学園祭詳細ミーティング | | |
| 7 | 演習 | 学園祭 本番に向けてのリハーサル | | |
| 8 | 演習 | 学園祭反省会+今後の練習計画についてディスカッション 課題曲の配布 | | |
| 9 | 演習 | 発声練習 課題曲音取り練習 アンサンブル練習 | | |
| 10 | 演習 | 練習状況についてミーティング 発声練習 課題曲アンサンブル練習 | | |
| 11 | 演習 | 発声練習 課題曲アンサンブル練習 ステージングの検討 | | |
| 12 | 演習 | 発声練習 課題曲振り渡し→アンサンブル練習 | | |
| 13 | 演習 | 発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習 | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | | 自主練習の計画と実践、参加状況管理 リーダー主催ミーティングと講師への報告、ライブラリアン(楽譜音源管理) 衣装管理、次回授業の準備物周知連絡ほか | | |
| 成績評価 | | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技100% | |
| 教材 | 教科書 | 新規アレンジショークワイア用楽譜と仮録カラオケ 市販ショークワイア用楽譜と専用カラオケのセット | | |
| | 参考書 | [子供のためのソルフェージュ](音楽之友社)全巻 [コールユーブンゲン](全音楽譜出版社)1~3巻 ※いずれも抜粋使用 | | [全訳] |
| 学生へのメッセージ | | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | | ヴォーカルプロジェクト | |
|---------------|--|--|-------------|--------|
| 授業名 | ヴォーカルプロジェクトⅡ | | 担当教員名 | |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | <p>1: ショークワイア用にアレンジされた楽譜を使用することで音楽理論やソルフェージュ、音楽用語などの総合的な活用を理解実践する 2: 学生リーダー制を導入することで自身の得意分野を生かした相互協力概念、調整能力を養いエンターテインメント業界で求められるコミュニケーションを実践する 3: それぞれの能力に応じた役回りでベストなパフォーマンスを行う 4: 外部出演の依頼に応える事の出来る音楽的な基礎体力を養う 5: 全ての過程を通して練習の重要性を理解し、全員が確かな成功体験を得る</p> | | | |
| 授業の内容 | <p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>実際の現場経験や業務内容を基に、現場で必要になるリアルなノウハウを伝えていきます。現場で必要になる専門的な音楽知識、技術を具体的に教材に盛り込むために当講義用にアレンジ(編曲)されたボーカル+コーラスの譜面を使用し、制作過程も含めて理解できるように促します。それぞれに役回りを持たせ協力しながら練習や準備を行う中で、各学生の特徴を活かし全員が輝けるパフォーマンスを目指します。発表時に全員が達成感を得られるよう、実際の現場における本番までの過程を踏襲しながら学んでいきます。</p> | | | |
| 【実務経験】 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | ショークワイア概観 履修学生のレベルチェック | | |
| 2 | 演習 | 課題曲の配布 パート分け リーダー決めと練習方針についてディスカッション | | |
| 3 | 演習 | 発声指導 パートリーダー決め パートミーティング 課題曲音取り練習 | | |
| 4 | 演習 | 発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション | | |
| 5 | 演習 | 発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション | | |
| 6 | 演習 | 学園祭楽曲練習 学園祭詳細ミーティング | | |
| 7 | 演習 | 学園祭 本番に向けてのリハーサル | | |
| 8 | 演習 | 学園祭反省会+今後の練習計画についてディスカッション 課題曲の配布 | | |
| 9 | 演習 | 発声練習 課題曲音取り練習 アンサンブル練習 | | |
| 10 | 演習 | 練習状況についてミーティング 発声練習 課題曲アンサンブル練習 | | |
| 11 | 演習 | 発声練習 課題曲アンサンブル練習 ステージングの検討 | | |
| 12 | 演習 | 発声練習 課題曲振り渡し→アンサンブル練習 | | |
| 13 | 演習 | 発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習 | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 自主練習の計画と実践、参加状況管理 リーダー主催ミーティングと講師への報告、ライブラリアン(楽譜音源管理) 衣装管理、次回授業の準備物周知連絡ほか | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技100% | | |
| 教材 | 教科書 | 新規アレンジショークワイア用楽譜と仮録カラオケ 市販ショークワイア用楽譜と専用カラオケのセット | | |
| | 参考書 | [子供のためのソルフェージュ](音楽之友社)全巻 [コールユーブンゲン](全音楽譜出版社)1~3巻 ※いずれも抜粋使用 | | [全訳] |
| 学生への メッセージ | | | | |

スーパードダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスプロジェクト | | |
|---|--------------------------------------|-----------|-------|--------|
| 授業名 | ダンスプロジェクトⅠ | | 担当教員名 | |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 前期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | | | | |
| ダンスイベントに向けて、ダンス作品制作が出来るようになる。 | | | | |
| 授業の内容 | | | | |
| 振付、構成、演出、音響、照明などの基礎知識をまなび、本番に向けての制作全般を学ぶ。本番後フィードバックを行い、次の作品制作へと繋げていく。 | | | | |
| 【実務経験】 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | 振付の考え方 | | |
| 2 | 演習 | 振付制作 | | |
| 3 | 演習 | 振付制作 | | |
| 4 | 演習 | 振付の意味付け | | |
| 5 | 演習 | 振付制作 | | |
| 6 | 演習 | 本番及び試験 | | |
| 7 | 演習 | 振付の意味付け | | |
| 8 | 演習 | 構成の考え方 | | |
| 9 | 演習 | 振付制作 | | |
| 10 | 演習 | 振付制作 | | |
| 11 | 演習 | 構成の考え方 | | |
| 12 | 演習 | 振付制作 | | |
| 13 | 演習 | 本番及び試験 | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技評価:100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生へのメッセージ | | | | |

スーパーダンス科昼間部Ⅱ部 シラバス

| 授業科目 | | ダンスプロジェクト | | |
|---|--------------------------------------|-----------|-------|--------|
| 授業名 | ダンスプロジェクトⅡ | | 担当教員名 | |
| 時間数 | 30 | 必修・選択 | 配当年次 | 1年次 後期 |
| 曜日・時限 | | 選択 | 教室 | |
| 授業の到達目標 | | | | |
| ダンスイベントに向けて、ダンス作品制作が出来るようになる。 | | | | |
| 授業の内容 | | | | |
| 振付、構成、演出、音響、照明などの基礎知識をまなび、本番に向けての制作全般を学ぶ。本番後フィードバックを行い、次の作品制作へと繋げていく。 | | | | |
| 【実務経験】 | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 内容 | | |
| 1 | 演習 | 振付の意味付け | | |
| 2 | 演習 | 振付の意味付け | | |
| 3 | 演習 | 振付制作 | | |
| 4 | 演習 | 振付制作 | | |
| 5 | 演習 | 振付制作 | | |
| 6 | 演習 | 本番及び試験 | | |
| 7 | 演習 | 振付制作 | | |
| 8 | 演習 | 構成の考え方 | | |
| 9 | 演習 | 構成の考え方 | | |
| 10 | 演習 | 振付制作 | | |
| 11 | 演習 | 振付制作 | | |
| 12 | 演習 | 振付制作 | | |
| 13 | 演習 | 本番及び試験 | | |
| 14 | | (ワークショップ) | | |
| 15 | | (ワークショップ) | | |
| 準備学習 時間外学習 | 準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習 | | | |
| 成績評価 | 1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%) | 実技評価:100% | | |
| 教材 | 教科書 | なし | | |
| | 参考書 | なし | | |
| 学生へのメッセージ | | | | |